

本時のねらい

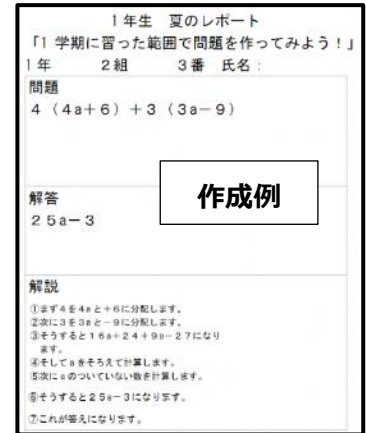
- ・数式などの数学的な表記について知り、表現できるようになる。
- ・学習した内容を基に問題を作成することで、数と式に関する理解を深める。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・Microsoft Teams でファイル共有を行うことで、お互いに作成した問題を解きあうことができる。
- ・共有した作品をもとに、自身の作成問題を振り返ることができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Microsoft Word
- ・Microsoft Teams（課題の配付・回収・共有に活用）
- ・大型提示装置（授業者の説明に活用・画面共有機能に活用）



本時の展開（全 1 1 時間計画：10 時間目）

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○本時の流れを説明 ・本時で作成するレポート内容の確認	・大型提示装置で作成例を見せながら、作成時のポイントを全員で確認しイメージをつかむ。
展開 (40分)	○レポートのひな形を Microsoft Teams で配付 ○レポートを作成 ・作成が難しい生徒は、1学期に使用したプリントやワークを振り返りながら作成するようにする。 ・わからないところは、班で相談しながら進めていく。	・共同編集機能でレイアウトが書き換えられないようにダウンロードしてから記入するように注意する。 ※Microsoft Teams の「課題」の機能を使って、一人ひとりに配付する方法をとったほうが良かった。 ・Microsoft Word での数式表記は、はじめは難しいが、一度覚えると上付き文字や、分数などの多様な表現がきれいにできる。 ・数式表記が難しい生徒も班の中ですぐに画面上の操作確認ができることで習得が早くなる。
まとめ (5分)	○Microsoft Teams で資料を回収 ○振り返りシートを記入 ・他者の提出した資料と自身の作成した資料を見比べながら、自身の資料の良かった部分や改善点について振り返りを行う。	・回収の前に Microsoft Word のままで保存するのではなく、他の生徒が編集できないよう PDF に変換してから保存・提出することを再確認する。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子

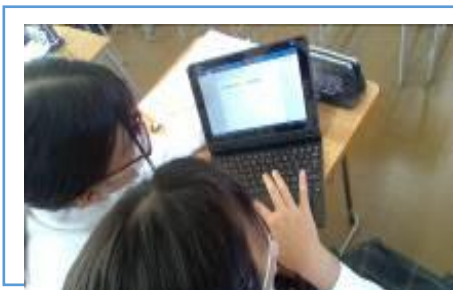


写真 1: 数式の表記の仕方を教えあう様子



写真 2: 個人で問題と解説を作成する場面

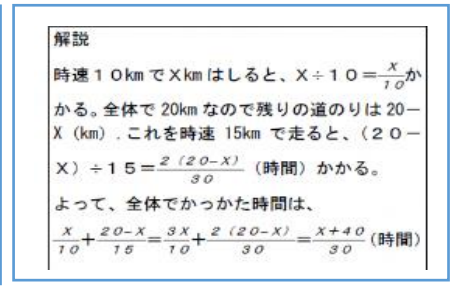


写真 3: 作成した解説

児童生徒の反応や変容

- ・文字式は、1年生の多くが最初につまづきやすい学習内容の単元ではあるが、全員が文字を用いた式を問う問題を作成することができていた。
- ・数式表記の方法がわからなかった生徒も、学び合いを通して最終的には全員が Microsoft Word の機能を使えるようになった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・数式入力の方法を動画で残しておけば、いつでも生徒が確認することができる。
- ・問題作成は、学習内容を正しく理解しているからこそできる。また、問題を作成する中で、自分なりに調整しながら変数の学習を進めることで、文字式に関する理解を深めることができる。今後は、文章題の作成に取り組ませていきたい。
- ・Microsoft Teams ではファイル共有を瞬時に行うことができるので、作成後の共有が効果的である。また、自分自身の見たいタイミングで全員の作成問題をいつでも見ることができるので、内容を他者のものと比較しながら学習を進めることができた。